



岡山大学自然生命科学研究支援センター

動物資源部門鹿田施設

2013

Newsletter Aug. 21

岡山市北区鹿田町 2-5-1 TEL 086-235-7445 FAX 086-235-7433 e-mail: animal@md.okayama-u.ac.jp  
ホームページ <http://www.cc.okayama-u.ac.jp/~animal/>



## マウス・ラット上級技術者講習会を実施しました。

今年度も、8月3日（土）、4日（日）の2日間、鹿田キャンパス医学部基礎講義・実習棟3階実習室において、日本実験動物技術者協会関西支部との共催で、マウス・ラット上級技術者講習会を実施しました。大学関係に限らず一般企業などからも多数ご参加頂き、今年受講生は40名でした。また、本学からも5名の受講がありました。



講習内容はマウス・ラットの保定、各種投与・採血法から、解剖、手術手技等多岐に渡り、実験動物技術指導員（日本実験動物協会認定）が講師を務め2日間みっちり行いました。かなりハードなスケジュールであったにもかかわらず、受講生の皆さんは、初日の懇親会後もほとんど全員が居残りして熱心に講習に取り組みました。当部門の職員も講師、講師アシスタントや全体サポートを担当しました。今年は改修された基礎講義棟の快適な環境の中で実習を行うことができ、非常に好評でした。

来年も本学で本講習を実施する予定です。「上級」と銘打ってはいますが、初心者も安心して参加できるマンツーマンに近い指導体制が採られていますので、これから本格的に動物実験を始められる方、ご自分の実験手技を再確認したい方などなど、是非多数ご参加ください。

## 🐭 新館3階 純水製造装置を更新。



従来の純水製造装置が老朽化による故障で修理不能になったため、新館3階319室に新型の装置の更新設置を行いました。本機の利用料金は設定しておりません。ぜひ研究活動にお役立てください。

(更新機器のご紹介)

ヤマト科学株式会社製

純水製造装置 オートスチル WG250

(特徴)

- ・イオン交換法⇒蒸留法⇒ろ過法で高純水が採取できます。
- ・前処理カートリッジ(活性炭+0.1 $\mu$ m中空糸膜フィルター)を通し原水の雑菌、トリハロメタン、残留塩素、有機物、ごみを除去します。
- ・高性能イオン交換樹脂カートリッジ(CPC-S、4L)を採用。電気伝導率、TOCともに高純度です。
- ・採水口にメンブレンフィルター(0.1 $\mu$ m中空糸膜)を標準装備しています。

## 🐭 新館5階、旧館2階に保管庫を設置しました。



新館5階503実験室、旧館2階使用済みケージ置き場に処分動物用保管庫としてフリーザーを設置しました。従来、処分動物は実験後、利用者各自で1階のフリーザーまで運んで頂いておりましたが、各階に保管庫を設置することで館内動線の簡素化を図りました。新館4階、旧館3階にも順次設置する予定です。処分動物は必ずビニール袋に入れ、口を固く縛ってから保管庫に入れて下さい。

## 🐭 飼育カードが新しくなりました。

すでに告知させて頂いてますが、遺伝子組み換え/野生型動物の把握、各飼育ケージ内の動物数の管理の徹底のため、飼育カードのフォーマットを下図のように変更しました。今後、遺伝子組み換え動物は『青色』、野生型動物は『白色』のカードに必要事項を記入してください(記入は第三者が判別可能な文字でお願いします)。しばらく従来の飼育カードのまま遺伝子組み換え動物を飼育することを希望される方は、各飼育フロアに用意してある『青色のシール』をカードに必ず貼付してください。また、各ケージ内の動物の頭数を飼育カードに記載してください。なお、頭数は増減があった時にはその都度『日付と頭数』の記入をお願いします。既に多くの利用者の方にこの新方式にご対応頂いておりますが、まだの

方には8月末日までにご対応頂きますようご協力のほどよろしくお願い致します。

遺伝子組換え動物 (青色)		野生型動物 (白色)	
№ - 123	所 属動物資源部門	№ - 123	所 属動物資源部門
OK.O.	研究者名 ○ ○	BALB/C	研究者名 ○ ○
(TEL) 7445	(TEL) 7445	(TEL) 7445	(TEL) 7445
週齢・体重 8w	搬入年月日 2013年7月10日	週齢・体重 8w	搬入年月日 2013年7月10日
性別 ♂ 5 ♀	メモ欄	性別 ♂ ♀ 5	メモ欄
匹数記入欄		匹数記入欄	
7/3 3		7/5 3	
7/15 2		7/20 1	